

群馬県内自動車部品製造企業の経営動向と意識調査

群馬経済研究所 主席研究員 河村英輝

調査のポイント

定点観測を目的とした県内自動車部品製造企業の経営状況に関する 2022 年度のアンケートと統計データにより、県内自動車産業の現状と見通しについて調査し、課題を考察した。

要約

- 2022 年度前半（4～9 月）の経営状況について尋ねたアンケートからは、県内自動車部品製造企業は、前年同期比でやや業況悪化が増えている。8 割が仕入原価の大幅な上昇を指摘し、製造原価も上昇していることがこの背景にある。22 年度後半見通しにおいても、仕入原価、製造原価ともに上昇が続くとみている。
- 外部から受けた影響を尋ねたところ、およそ 5 割が、①「国内自動車販売動向の変化」、②「外国為替相場の変動」、③「海外経済情勢の変化」を前年度より厳しくなったと回答した。
- 自社の経営課題を尋ねたところ、「資材・製造経費の増加」について 9 割の企業が厳しくなったと指摘した。また、「求人難・人材確保」についても 5 割の企業が挙げた。
- 将来の経営の方向性については、「事業範囲の変化する方向」は「拡張・多角化」の回答が 4 割と、前年度より増加した。